



ヒロイ夢をノベルにしてみた

その2

僕が見たエロい夢を小説にしてみた

エロい夢 その1

交番にいた JK のアレを……。

見た日 2022年4月25日22:30分就寝～26日7:30起床

登場人物

小田原望海(仮名)(23)

ショートボブの JK

茶髪ロングの JK

これから先は

望海、ボブ、茶髪と呼ばせていただきます。

その日の夢の中で僕は道を尋ねるために交番に行きました。交番には先客の JK2人が。

ボブ 「トイレを貸してください」

茶髪 「お願いします。」

警官 「そう言われましても、貸さないというマニュアルでして……。」

望海 「だったら僕の家トイレを貸してあげる。僕の家すぐそこだから。」

2人 「ありがとうございます。」

そして2人を家に連れていく途中で2人を見つめた。

ボブ 「何見つめているの？」

茶髪 「何かついている？」

そして家に着いた。

望海 「2人のおしっこが飲みたいから飲ませてよ。」

ボブ 「飲ませたくない！絶対に嫌だ。」

茶髪 「私も」

望海 「じゃあこれにしてよ。」

僕はショートボブにペットボトルを茶髪にアルミ缶を渡した。

ボブ 「これにするの？」

望海 「そうだよ、これ。」

僕は2人に5万円ずつ支払った。

お試し版はここまで。続きは製品版で。

あなたのおしっこにまつわる経験談やエロい夢をお題箱で募集中！！応募は[こちら](#)のリンクをクリック

または下の URL をコピー

<https://odaibako.net/u/hcttTL9y6vVpsAl>